

カリキュラム Curriculum	人文学研究科MC		ナンバリング Numbering	HUMEA6005B
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
2010516	アメリカ文学特殊研究a <Specialized Studies in American Literature a>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
英米文学	長畑 明利(NAGAHATA Akitoshi)		春学期 (Spring semester)	火曜 : 4限
講義題目 Title				
単位 Credit	2			
備考 Others	【授業開講形態(対面・遠隔の別)は以下のWEBページにまとめています。 URL:https://mado.adm.nagoya-u.ac.jp/hum_web 履修登録後に授業形態に変更がある場合には、NUCTの授業サイトで案内しますので必ず確認してください。 授業での使用ツールや遠隔授業(オンデマンド型)の場合の教員への質問方法・学生同士の意見交換の方法等についてもNUCTの授業サイトで案内します。】			
履修条件 注意事項 Requirements for registration	英語で書かれた文学作品と学術論文を独自に読み進めることができること、学習に対する意欲、積極性を有することを履修の条件とする。			
授業の目的 Purpose	<p>授業の主たる目的は次の3点である。(1)近年のアジア系アメリカ文学の小説と詩を読み、それらについて議論することにより、アジア系アメリカ文学の特徴とその歴史的・文化的背景を学ぶこと、(2)文学作品の分析方法を学ぶこと、(3)英文での学術論文執筆に資する高度な英文読解力と論文執筆能力を育み、英語で口頭発表を行う力を高めること。</p> <p>In this course, participants will (1) learn about the characteristics of Asian American literature and its historical and social background, (2) learn various methods of literary analysis, and (3) acquire advanced skills in academic English (reading, writing and giving presentations) necessary for writing scholarly articles and making academic presentations.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>2001年以後に出版されたアジア系アメリカ文学の作品(小説と詩)を読み、そこに見られる特徴およびそれらが提起する歴史的、社会的諸問題について検討する。</p> <p>各回の授業は担当制で行う。担当者は担当箇所のアウトライン、注、質問、コメントをまとめたハンドアウトを作成し、授業前日までにNUCTに投稿する。授業は担当者によるレジユメをもとにした口頭発表と発表内容に関する質疑を中心に進める。</p> <p>学期末試験として一人約20分の発表(英語)を課す。また、英文による期末レポートを課す。</p>			
教科書 テキスト Textbooks	Suke Kim, The Interpreter (2003) Ruth Ozeki, All over Creation (2003) Viet Thanh Nguen, Sympathizer (2015) Ocean Vuong, Night Sky with Exit Wounds (2016)			
参考書 References	Elaine H. Kim, Asian American Literature (Temple UP, 1982) Juliana Chang, Inhuman Citizenship: Traumatic Enjoyment and Asian American Literature (U of Minnesota P, 2012) Josephine Nock-hee Park, Cold War Friendships: Korea, Vietnam and Asian American Literature (Oxford UP, 2016) Christina Cline, Cold War Orientalism (U of California P, 2003) その他、授業にて紹介する。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	受講者はテキストを精読した上で授業に出席する。担当者に指定された場合は、レジユメを作成し、発表の準備を行う。学期末には英語での発表の準備を行い、また、英文レポートを執筆する。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	授業点(報告、授業への積極的参加など)50%、期末試験(発表)20%、期末レポート30%。 60点以上を合格とする。			

連絡方法
Contact
information

オフィスアワー：アポイントメントによる。連絡先：e43479a@cc.nagoya-u.ac.jp。